



はじめてでもわかる、楽しめる

す ず め の か い
日本舞踊公演 須々めの會

難しい？退屈？？そんな日本舞踊のイメージを新しく！おもしろく！

日本舞踊公演「須々めの會」（会主：藤間勘須和、文筆家名：安藤寿和子）は、“敷居が高い”“難しい”、そんなイメージを持たれやすい日本舞踊の世界を“前知識がなくても、直感的におもしろく魅せる工夫と演出、で伝え、興味関心を持っていただくことを目指して活動しています。

この度、第2回「須々めの會」公演を、令和7年1月25日（土）に金剛能楽堂（京都市上京区）にて開催いたします。古典の要素を大切にしつつも、はじめて日本舞踊をご覧になる方やお子さまにもわかりやすく、そして楽しくお届けします。



■「須々めの會」とは

コロナ禍中、舞台芸術発表、鑑賞の場が次々と消えてゆく状況に危機を感じ、日本文化、なかでも日本舞踊や古典芸能の存続、普及、発展、次世代への継承、研鑽を目的として、舞踊家・藤間勘須和が中心となり令和3年に発足しました。

“難しい”“敷居が高い”“退屈”

残念ながら、日本舞踊をご覧になったことのない方の多くがこのようなイメージをお持ちなのではないでしょうか？

「須々めの會」は、これまで日本舞踊などの古典芸能に親しみのない方にも、直感的に魅力が伝わりやすい工夫と演出で、ひとりでも多くの方に「案外面白い。また観たい、聴きたい、やってみたい」と思っただけのことを目指しています。

日本舞踊の根幹は大切にしつつも、はじめて日本舞踊に触れる方や若い世代の方が関心を持ちやすい題材を選ぶことで共感性を高め、「何かが刺さる舞台」を体感してもらいたいと考えています。

【公演実績】

令和3年 第1回「須々めの會」

文化庁「令和2年度活動継続・技術向上等支援事業」/
京都市芸術文化協会「両立支援補助金事業」

演目：新作「うずめ」、古典「隅田川」

後援：古典の日推進委員会/京都新聞/ジャポニズム振興会

YouTubeでメイキングを配信中：<https://www.youtube.com/watch?v=tNVj11mATik>

令和4年 新作「うずめ」客演

於：「明日の京都」文化遺産プラットフォーム 無形文化遺産シンポジウム



登場は素面で



舞台上で着替えて・・・



優美な女神「アメノウズメ」に変身！



次は勇壮な男神「タヂカラヲ」に変身



ひょっこり！



もう一度舞台上で着替えて・・・

第1回 須々めの會 新作「うずめ」

面を付け、アメノウズメとタヂカラヲ
の男女神を踊り分けた。

■「はじめてでもわかる、楽しめる！」演目のみどころ

各演目の上演前に、あらすじや曲の成り立ち、背景をわかりやすく説明する解説の時間を設けます。加えて、若い世代やお子さまにも「わかりやすく、楽しい」解説資料を配布予定！



<古典>義太夫「葛の葉」^{くずのは}

陰陽師・安倍晴明のお母さんは狐だった！？

そんな伝説をもとに、いつの時代も変わらない親子の情愛を描いたドラマ性のある作品です。瞬間的に衣裳が変わる“ぶっ返り”という古典芸能ならではの演出で、視覚的にもお楽しみいただけます。

<新作>「黄泉比良坂」^{よもつひらさか}

「神話シリーズ」第2弾。

『古事記』でもおなじみ、日本の国をつくったとされる「国生み」の神様イザナギ、イザナミが黄泉の国（死者の国）で大ゲンカ！そこに「仲裁の神」「縁結びの神」であるククリヒメが登場して……。

「古事記」や「日本書紀」の世界観（※）を、「面」を使った早替わりで1人3役を演じ分けます。

三味線をはじめ、箏、笛、太鼓など邦楽ならではの楽器の生演奏が、神話の世界観をより一層盛り上げます。

作詞/安藤寿和子、作曲/重森三果、
振付/藤間勘須和

（※ククリヒメは日本書紀にのみ登場する神）



■公演概要

◇公演名

ふじまかんすわ 藤間勘須和リサイタル ^{すずめのかい} 第2回 須々めの會

◇日 時

令和7年1月25日(土)
午後2時開演(午後1時半開場、午後4時終演予定)

◇場 所

金剛能楽堂 <https://kongou-net.com/>
(京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590/
地下鉄烏丸線「今出川」駅徒歩5分)



金剛能楽堂

◇演 目 新作

新作 ^{よもつひらさか} 黄泉比良坂
古典 ^{くずのは} 義太夫 葛の葉

◇出 演

日本舞踊 藤間勘須和
邦楽演奏 やしょめ
(三味線/唄:重森三果、箏:中川佳代子、
笛:森美和子、太鼓:滝本ひろ子)
司会/解説 井上理砂子

◇監 修

藤間勘祐悟

◇特別顧問

山折哲雄(宗教学者)

◇チケット

一般 前売4,000円、当日4,500円
学生 2,000円(学生割引は大学生まで対象、当日学生証をご提示ください)
お子さまも大歓迎です!

ご予約は

1) 下記リンクまたはQRコードから

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfPQFAmmsQXSOfTmnGnkXy2PFgSjQymWOqH-YEoCQROrN9WIQ/viewform?usp=sf_link

(ゆっくりタップするとタブが開きます)

2) お電話 担当: 小嶋 (070-5505-9288)



チケットリンク

◇Instagram

最新情報を発信しています!

https://www.instagram.com/suzumeno_kai/?igsh=MTh3M25heXY3encxNw%3D%3D&utm_source=qr



■会主：藤間勘須和（文筆家名/安藤寿和子） 略歴



京都市生まれ

6 歳より藤間勘美和に師事し日本舞踊を、14 歳より清元延美代章に師事し清元を習得。

安藤寿和子の名では長年にわたり文筆業を生業とする。

安藤寿和子 Instagram

https://www.instagram.com/fujima_kansuwa?igsh=MXZsd3dmaGhkjQ3MQ==

- 平成 10 年 古典芸能や京都の文化などを中心に取材、執筆、ならびに書籍の企画などを行う「オフィス AND（オフィスアンド）」を設立、主宰。
- 平成 12 年 藤間勘須和の名をゆるされる
- 平成 15 年 師範免許を取得し、舞台活動の傍ら指導にも従事
- 令和 2 年 古典芸能の普及、継承、研鑽、発表を目的とする「須々めの會」を発足
- 令和 3 年 「第 1 回 須々めの會」公演を開催
（後援：文化庁/京都市芸術文化協会補助金/京都新聞/ジャポニズム振興会/古典の日推進委員会）
- 令和 4 年 「明日の京都」文化遺産プラットフォーム 無形文化遺産シンポジウムにて、「第 1 回須々めの會」で初上演した新作舞踊「うずめ」を客演
- 令和 5 年 富士山世界文化遺産登録 10 周年記念事業の一環として、その構成資産である「忍野八海」のイメージソング「八海音頭」の作詞と振付を行う
- 令和 7 年 「第 2 回 須々めの會」上演予定

長年の文筆家業で培った「聞く」力、「書く」力、さらに取材で得た多くの「人の輪（和）」を日本舞踊に還元することを会のテーマとする。
とりわけ「古事記」をはじめとする神話の世界を描く新作舞踊をシリーズ化すべく、技術向上とフィールドワークに勤しむ。

■邦楽演奏：やしよめ



京女 4 人の邦楽ユニット。2014 年結成。

「やしよめ」の由来は「優女ヤシャウメ」という言葉。いにしえより響く音を大切に、世の中を明るくしたいという思いを込めて音楽を奏でます。企画公演ほか、檀原神宮、戒光寺、松尾大社など、寺社仏閣での奉納演奏も多数。

やしよめ Facebook

<https://www.facebook.com/yasyome>